

一般社団法人 半導体産業人協会
理事長 野澤滋為
講演企画委員長 有門 経敏

2025 年度 2 月度フォーラム開催案内

平素、半導体産業人協会の活動に格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

2025 年 2 月度フォーラムの開催をご案内いたします。

半導体産業が脚光を浴び、政府もかつてない多額の補助金を投入しています。一方で、「絶対にうまくいかない産業に金をつぎ込むべきではない」、「半導体よりも食料政策に金をつぎ込め」などという反対意見は多数見られます。

多額の国費をつぎ込むが故に、半導体に係わった人々は絶対に成功して欲しいと考えるに違いありません。

このような折りですので、歴史を振り返ってみることに意味があると考え、半導体産業の研究で名高い中馬宏之氏（一橋大学名誉教授、成城大学名誉教授、日清紡 HD シニアアドバイザー、日本無線・日清紡マイクロデバイス社外取締役）をお招きし、日本の DRAM 産業が衰退した原因を多角的に分析した研究成果を紹介していただきます。

お忙しいとは存じますが、皆様には奮ってご参加下さいますようお願い申し上げます。

記

1. 開催日時

2025 年 2 月 27 日（木） 15：00～17：00

2. 開催場所

林野会館（+ オンライン）

3. プログラム

15：00～17：00 講演

17：00～18：30 懇親会

4. 参加費

会員・準会員・賛助会員：講演聴講：無料、

懇親会：3,000 円

一般：

講演聴講：3,000 円

懇親会：3,000 円

5. 申し込み方法

・申し込み先：info@ssis.or.jp

- ・本メールに返信の形で、氏名、ご所属、会員、または一般、および参加方法（林野会館参加、またはオンライン）をご記載の上、事務局(info@ssis.or.jp)に申し込み下さい。
- ・申し込みいただければ、受け付けた旨、オンライン希望者にはオンライン接続情報（Zoom 会議 URL）を返信いたします。
- ・一般の方には、申し込みをいただいた後、受付メールに半導体産業人協会の口座をご案内しますので、聴講料 3,000 円をお振込みください。オンラインをご希望の方には、振込確認後、オンライン接続情報をお送りいたします。
- ・一般の方も当協会に入会いただければ、入会后 1 年間会費無料で会員登録できます。その場合には、本フォーラムを無料で聴講することができます。
- ・ご質問がある場合は、事務局(info@ssis.or.jp)までお問い合わせください。

・申し込み締め切り：2 月 20 日（木）17：00

7. 講演内容

講師：中馬宏之氏

一橋大学名誉教授、成城大学名誉教授
日清紡 HD シニアアドバイザー
日本無線・日清紡マイクロデバイス社外取締役



テーマ名：『日本はなぜ DRAM で世界に敗れたのか』

概要：

本報告では、日本の半導体メーカーの汎用 D R A M ビジネスに関する盛衰過程を精査し、そのような歴史分析から学び取ることのできる事業・経営・技術戦略上の知見や方向性について考察する。報告に際しては、従来の分析では十分に活用されてこなかった日米関連特許や著名な国際学会論文などの公開データ、量産 D R A M に関する数多くの有料・無料の販売・技術資料、D R A M 素子特性の走査電子顕微鏡（SEM）写真に基づいた詳細な技術解析等々含んだ半導体設計・プロセスならびにシステム化実装技術に関するハードエビデンス等々を活用する。そして、これらのハードエビデンスに基づき、ミクロからセミマクロ、そしてマクロのレベルにまたがる日米韓の半導体メーカーの事業・経営戦略や技術戦略の変遷を比較検討する。さらに、そのような歴史分析の結果に基づいて、「日本はなぜ D R A M ビジネスで世界に敗れたか」について Systems of Systems（SoS）という視点から分析を試みる。

講師御略歴

< 学歴 > 一橋大学経済学部卒（1975 年）、New York 州立大学バッファロー校 Ph.D.（経済学）

<職歴> 南イリノイ大学カーボンデール校経済学部助教授、東京都立大学経済学部・准教授、一橋大学経済学部・准教授・教授、一橋大学イノベーション研究センター教授、成城大学社会イノベーション学部教授を経て現職

（当該期間中に以下を兼務：米国エール大学経済学部・客員教授、独）経済産業研究所ファカルティフェロー、文部科学省・科学技術政策研究所・客員総括主任研究官、内閣府総合科学技術会議・基本政策専門調査会・専門委員、日清紡ホールディングス社外取締役等々）

一般社団法人 半導体産業人協会

<http://www.ssis.or.jp>

TEL：03-6457-3245

FAX：03-6457-3246
